

日本女子大学で

「人優先道路の実現に向けたお試し実験」を実施しました！

日本女子大学建築デザイン学部建築デザイン学科の葉袋研究室では、人優先の道路の実現に向けた社会実験に、2019年から継続的に取り組んでいます。今年度の取組内容をお知らせします。

調査期間：令和7年11月17日(月)～12月22日(月)

調査方法：

- 弦巻通りと雑司が谷公園前の道路に、緑と白の円の模様を設置
- 雑司が谷公園前の道路の模様は、子どもたちがワークショップで提案した模様を参考に、雑司が谷・南池袋まちづくりの会、雑司が谷公園運営協議会で検討し決定
- アンケート調査 / ヒアリング調査 / 動画撮影による車の速度や歩行場所等を確認

共催：雑司が谷・南池袋まちづくりの会、雑司が谷公園運営協議会、NPO法人雑司が谷ひろばくらぶ、弦巻通商友会、雑司が谷未来遺産推進協議会 / 協力：豊島区土木担当部、雑司が谷二丁目町会、青葉会



▲雑司が谷公園前の道路の模様

アンケート・ヒアリング調査では、模様の設置前と比べて、「楽しい、明るい、親しみを感じる」という結果が出ました。足の不自由な方から、「いつもは遠慮して道を歩くけれども、この模様があると安心して歩ける、ゆっくり歩いてもいいのだという気持ちになれる」という意見があり、模様を設置した効果が把握されました。今後も、人優先の道路の実現に向け、取組みを進めていきます。



結果の詳細は【ぼんえるふ研究会】のWebサイトでお知らせします！詳しくはこちらから⇒

今年度もぞうこう防災が開催されました！

令和7年11月16日(日)に雑司が谷公園でぞうこう防災が開催されました。「楽しみながら学ぶ防災」をテーマに、地域の5町会が合同で主催し行いました。防煙体験や防災クイズラリー、AEDを使った応急救護体験など、盛りだくさんの内容でした。爽やかな秋晴れの中、子どもから大人まで多くの方が参加しました。

防災クイズラリー



クイズを通して楽しみながら防災について学びました！

かまどベンチ体験



災害時にスムーズに使えるよう今のうちから使い方を覚えておきましょう！

起震車体験



強い地震から身を守る難しさを体験しました！

豊島区からの おしらせ

不燃化特区の助成制度が継続されます！

区では、雑司が谷・南池袋地区の不燃化を促進するために、老朽建築物の建替えや除却に要する費用の一部を助成しています。この助成制度について、令和7年度に終了予定としていましたが、5年間(令和12年度まで)の継続が決定しました。

この機会に、建替えや除却をお考えの方は、助成制度をご利用ください！

お問合せ 豊島区 地域まちづくり課 【電話】03-3981-1464



まちづくりニュース

2026・3

通算93号

ぞうしがや

<http://zoshigaya.org>



- 企画／発行
雑司が谷・南池袋
まちづくりの会
- 事務局・連絡先
豊島区地域まちづくり課
事業第1グループ
03-3981-0489

日本女子大学へ提案書を提出しました

雑司が谷・南池袋地区内にある広大な日本女子大学寮の敷地は、地域の防災性の向上やみどり豊かな環境の形成に寄与することが期待されます。

そのため、雑司が谷・南池袋まちづくりの会では、大学寮敷地の活用や地域との連携について議論を重ね、令和7年4月3日に日本女子大学へ「日本女子大学寮敷地についての提案書」を提出しました。

今後は、大学と地域の良い関係をさらに深め、歴史ある雑司が谷らしさを守りつつ、災害に強い安全なまちづくりを実現していきます。



日本女子大学寮

提案内容の概要

【日本女子大学へ期待すること】

①寮敷地の安全性の向上

敷地周囲の擁壁と万年塀の改修工事の継続。

④豊かな緑の維持

現在の豊かな緑の維持と周辺住民が緑を実感出来る機会の設定。

②寮敷地北側の道路を重点道路として整備

居住環境整備事業の重点道路となっている敷地北側の道路について、区の整備方針への協力。

⑤歴史と文化の拠点となる使い方

歴史と文化豊かなまちとなるように、明桂寮をはじめとした敷地内の歴史的な建物の利活用。

③寮敷地内の通行や避難

敷地内の中央にある通路を災害時に開放し、避難路等としての利用を検討。

⑥情報提供と共有

寮内の様子やイベント、今後の整備予定等の情報提供や地域からの情報発信のための窓口の紹介。

【日本女子大学へのお願い】

以上の内容等について、懇談・協議する機会を設けること。



一緒に安全で住みよいまちづくりを進めませんか？

雑司が谷・南池袋まちづくりの会は、防災性や生活環境向上のため、協議・提案・活動を行う組織です。雑司が谷にお住まいの方、ゆかりのある方であれば、どなたでも参加できます。皆様のご参加お待ちしております！

興味のある方は
こちらまで
ご連絡ください！



まちの資源や課題を共有



実際にまちを歩き、現地の状況を確認

お問合せ

豊島区都市整備部 地域まちづくり課事業第1グループ
電話：03-3981-0489 FAX：03-3980-5135
Mail：A0022706@city.toshima.lg.jp
担当：丹羽・近藤



メールは
こちらから！

今年度の活動内容は中面をご覧ください！

日本女子大学との意見交換

令和7年4月3日(水)に提出した日本女子大学への提案書を踏まえ、第1回雑司が谷・南池袋まちづくりの会では、日本女子大学と地域の連携について、大学の敷地を管理・運営している担当職員と意見交換を行いました。当日は女子大寮周辺の幅員の狭い道路や万年塀の解消、寮生とまちづくりの会をはじめとした地域活動との連携について議論しました。

第2回では、地域として大学寮生に期待することを具体的に議論し、地域活動を一緒に行うことで交流を深められないか等の意見が挙がりました。第1回の議論を合わせて、10月に日本女子大学へ①寮生のまちづくりの会への参加、②寮生に対して地域に関するアンケート調査を実施すること等を提案しました。

その結果、①については、学寮として関わるからには教員がつくべきであり、現状はそれが難しい、②については、アンケートへの回答は、まちづくりに関心のある学生が回答すべきと考えているとの理由で、一律にアンケートを実施することは見送られました。一方、学生の個人的な地域活動への参加を制限するわけではなく、例えば、大学として地域イベントの周知を行うことは可能と回答いただきました。そこで、「ぞうこう防災2025」のチラシを早速学内に掲示していただきました。



▲話し合いの様子



大学寮周辺の様子▶

地域の防災性向上に向けた 取組みについて検討しました

第3回では、日本女子大学との連携という視点に留まらず、地区の防災性の更なる向上のために会としてできる取組みについて議論しました。

建替えや公園整備が進んでいる中、ハード面の取組みとして、行き止り道路の解消や危険な万年塀やブロック塀の除去、狭あい道路の拡幅整備や電柱の移設による消火活動の円滑化等の意見が挙がりました。ソフト面の取組みとして、災害時に共助が円滑にできるように近所の方の顔を知っておくこと、避難経路や消火栓の位置の把握、消火活動の方法の周知、日本女子大学との地域協定による連携等の意見が挙がりました。

来年度は、災害時の避難の課題となる行き止り道路の把握と改善について検討を行い、並行してまちづくりの会の活動内容の周知や会員を増やす活動を行っていきます。



話し合いの様子



雑司が谷・南池袋まちづくりの会が 東京都より表彰されました！

令和7年 11月 11日(火)に開催された、東京都主催の不燃化シンポジウムにて、雑司が谷・南池袋地区での長年の防災まちづくりの取組みが評価され、東京都より表彰されました。

当日は、雑司が谷・南池袋まちづくりの会を代表して阪本会長が登壇し、表彰団体のパネルディスカッションでは、雑司が谷・南池袋地区のこれまでの取組みを紹介し、東京都立大学の中林名誉教授や他地区の協議会の代表者と防災まちづくりにおける地元住民組織の役割について意見交換を行いました。

表彰状は雑司が谷公園丘の上テラスに掲示していますので、お立ち寄りの際にはぜひご覧ください。

東京都不燃化ポータルサイトでも紹介されています！
詳しくはこちら→



表彰式の様子



パネルディスカッションの様子

にこにこプチひろばの今 ~にこにこ会の活動報告~

令和6年12月に開園したにこにこプチひろばは、花壇を中心とした広場にかまどベンチや防災井戸、防災倉庫が設置された災害時にも役立つ広場として整備されました。

花壇や広場の維持管理は、地域団体の「にこにこ会」が行っています。今年度は5月と11月に花の植替えを行いました。植え替える花の種類は、にこにこ会の会員が話し合って選んでいます。花の植替えは広場内の掲示板にてお知らせし、当日は会員以外の方にも参加していただきました。

また、花の植替え以外にも日頃の水やりや広場の清掃も行っています。

新規会員も募集しておりますので、興味のある方はこちらの二次元コードからお問合せください↓



花壇をきれいに管理しています 植替えの仕上げに水やりをしました 防災井戸も活躍しています



お問合せ
GoogleForm

